

平成 25 年度 がん看護臨床実務研修「緩和ケアコース」

1. 目標：がん患者に対し、緩和ケアに関する専門的な知識に基づき看護が実践できる
2. 行動目標
 - 1) トータルペインの視点でアセスメントすることができる
受け持ったがん患者の情報に基づきトータルペインの視点でアセスメントし、看護上の問題点を明確にする
 - 2) 自己のコミュニケーションパターンを知り自己課題を明確にする
受け持ったがん患者の対応場面のプロセスレコードを分析し、自己のコミュニケーションパターンを知り自己課題を明確にする
自己課題を持ち患者とコミュニケーションを図る
3. 研修期間：2週間
4. 研修内容
 - 1) 病棟でがん患者を受け持ち、情報収集から看護計画立案まで行い患者や家族とコミュニケーションを図りながら患者理解を深めて看護を実践する。
 - 2) 外来化学療法室、放射線治療室・地域医療連携センター・緩和ケアチームなど半日程度の見学実習を行う。

実習例

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 週 目	午前	オリエンテーション	病棟実習	病棟実習	病棟実習	病棟実習
	午後	受け持ち患者選択	病棟実習	病棟実習	外来化学療法室	緩和ケア外来 緩和ケアチーム カンファレンス 参加
		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
2 週 目	午前	病棟実習	病棟実習	病棟実習	病棟実習	病棟実習
	午後	病棟実習	放射線治療室	地域医療連携センター	病棟実習	カンファレンス 記録整理

※研修内容は、研修生の希望に応じ研修初日に調整します。

実習病棟は、研修生の希望に応じて全病棟が対象ですが、実習指導者（がん看護分野の専門看護師・認定看護師）が所属している呼吸器内科・外科、血液内科、消化器内科、消化器外科病棟が中心になります。

平成 25 年度 がん看護臨床実務研修「がん化学療法コース:1・3 日間」

1. 目標：抗がん剤の安全な投与管理や、有害事象のアセスメントとケアについて理解できる
2. 行動目標
 - 1) 治療前の看護：レジメンの指示内容を確認し、在宅での生活状況や出現した有害事象と対応について情報収集し、身体・精神・社会的側面からアセスメントできる
 - 2) 治療中の看護：抗がん剤の安全な取り扱いと、レジメンの特性に応じた投与管理について理解できる（抗がん剤の被曝予防対策、血管外漏出予防対策、過敏症への対応）
 - 3) 治療後の看護：抗がん剤の有害事象への対応について、個別性に応じた指導が理解できる患者・家族への相談支援体制やチーム医療について理解できる
3. 研修期間：1—3 日間（数時間～1 日の見学にも応じます）
4. 研修内容
 - 1) 外来化学療法室看護師の実際を見学し、指導担当看護師の担当患者と一緒に受け持ち、入室から退室まで患者・家族とコミュニケーションを図り、がん化学療法看護を学ぶ。
 - 2) 外来化学療法室の看護、各診療科外来での診察や IC への同席、各診療科とのカンファレンスを見学実習する。

* 数時間～1 日の見学実習の場合

 - 3) 外来化学療法室看護師の実際を見学し、外来化学療法室における一連の看護業務、運用管理、他職種との連携について学ぶ。

実習例

	1 日目	2 日目	3 日目
午前	実習オリエンテーション 外来化学療法室	外来化学療法室	外来化学療法室
午後	外来化学療法室	外来化学療法室 治療前オリエンテーション 見学	外科外来 消化器外科外来カンファ レンス参加

※研修内容は、研修生の希望に応じ研修初日に調整します。
研修場所は、外来化学療法室になります。

平成 25 年度 がん看護臨床実務研修「がん化学療法コース：1 週間」

1. 目標：がん化学療法を受ける患者・家族のアセスメントを行い、個別性に応じたセルフケア支援を実践できる
2. 行動目標
 - 1) 治療前の看護：レジメンの指示内容を確認し、在宅での生活状況や出現した有害事象と対応について情報収集し、身体・精神・社会的側面からアセスメントできる
 - 2) 治療中の看護：抗がん剤の安全な取り扱いと、レジメンの特性に応じた投与管理について理解できる（抗がん剤の被曝予防対策、血管外漏出予防対策、過敏症への対応）
 - 3) 治療後の看護：有害事象の対応について、個別性に応じた指導が理解できる患者・家族への相談支援体制やチーム医療について理解できる
 - 4) 患者の状況やセルフケア能力をアセスメントして、個別性に応じた薬剤指導や在宅支援について理解し、実践できる。さらに、必要なソーシャルサポートを検討できる
 - 5) 主なレジメンについて薬剤の特性に基づいた安全管理と有害事象の対応について理解できる
3. 研修期間：1 週間
4. 研修内容
 - 1) 外来化学療法室実習の場合は、指導担当看護師の担当患者を受け持ち、入室から退室まで患者・家族とコミュニケーションを図りながら、がん化学療法看護を実践する。
 - 2) 病棟実習の場合は、がん化学療法を受ける患者を受け持ち、情報収集から看護計画立案を行い、指導担当看護師の支援を受けて看護を実践する。
 - 3) 希望に応じて放射線治療室、地域医療連携センター、緩和ケアチームなど半日～1 日程度の見学実習を行う。

実習例

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目
午前	オリエンテーション	外来化学療法室	外来化学療法室	外来化学療法室	外来化学療法室
午後	外来化学療法室 呼吸器内科カンファレンス参加	外来化学療法室	外来化学療法室	外来化学療法室	放射線治療室 記録整理

※研修内容は、研修生の希望に応じ研修初日に調整します。

実習病棟は、研修生の希望に応じて全病棟が対象ですが、実習指導者（がん看護分野の専門看護師・認定看護師）が所属している呼吸器内科・外科、血液内科、消化器内科、消化器外科病棟が中心になります。

平成 25 年度 がん看護臨床実務研修「がん化学療法コース：2 週間」

1. 目標：がん化学療法を受ける患者・家族のアセスメントを行い、個別性に応じたセルフケア支援を実践できる
がん化学療法を受ける患者の症状体験を理解して症状マネジメントが実践できる
2. 行動目標
 - 1) 治療前の看護：レジメンの指示内容を確認し、在宅での生活状況や出現した有害事象と対応について情報収集し、身体・精神・社会的側面からアセスメントできる
 - 2) 治療中の看護：抗がん剤の安全な取り扱いと、レジメンの特性に応じた投与管理について理解できる（抗がん剤の被曝予防対策、血管外漏出予防対策、過敏症への対応）
 - 3) 治療後の看護：有害事象の対応について、個別性に応じた指導が理解できる
患者・家族への相談支援体制やチーム医療について理解できる
 - 4) 患者の状況やセルフケア能力をアセスメントして、個別性に応じた薬剤指導や在宅支援について理解し、実践できる。さらに、必要なソーシャルサポートを検討できる
 - 5) 主なレジメンについて薬剤の特性に基づいた安全管理と有害事象の対応について理解できる
 - 6) がん化学療法を受ける患者へ IASM を用いて症状マネジメントを実施し、評価できる
3. 研修期間：2 週間
4. 研修内容
 - 1) 外来化学療法室実習の場合は、指導担当看護師の担当患者を受け持ち、抗がん剤の有害事象の観察とアセスメントを行い、IASM を用いてがん化学療法看護を実践する。
 - 2) 病棟実習の場合は、がん化学療法を受ける患者を受け持ち、情報収集から看護計画立案を行い、指導担当看護師の支援を受けて IASM を用いてがん化学療法看護を実践する。
 - 3) 1 と 2 を組み合わせて、さらに希望に応じて放射線治療室、地域医療連携センター、緩和ケアチームなど半日～1 日程度の見学実習を行う。

実習例

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 週 目	午前	オリエンテーション	病棟実習	症状マネジメント講義	病棟実習	病棟実習
	午後	受け持ち患者選択	病棟実習	病棟実習	病棟実習	地域連携センター緩和ケアチームカンファレンス参加
		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
2 週 目	午前	病棟実習	病棟実習	病棟実習	病棟実習	病棟実習
	午後	病棟実習	放射線治療室	外来化学療法室	外来化学療法室	カンファレンス記録整理

※研修内容は、研修生の希望に応じ研修初日に調整します。

実習病棟は、研修生の希望に応じて全病棟が対象ですが、実習指導者（がん看護分野の専門看護師・認定看護師）が所属している呼吸器内科・外科、血液内科、消化器内科、消化器外科病棟が中心になります。